

図書館だより

栃木市立栃木西中学校 令和2年8月号 葉月

2学期がスタートしました！

今年は短い夏休みになってしまいましたが、皆さんはどのように過ごしたでしょうか？外出できずに、家で過ごした人も多かったのではないのでしょうか。

2学期になり、図書室も開館できるようにしたいと思います。1年生は西中図書室の利用の仕方をオリエンテーションしてからの貸出、2・3年生は9月からの貸出になります。楽しみに待っていて下さい。

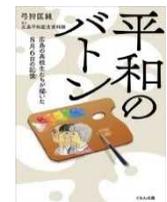
8月15日は終戦記念日でした。

1945年8月6日 広島に原爆が落とされ、3日後の8月9日には長崎に原爆が落とされました。そして8月15日、終戦をむかえました。今は戦争を体験した人はほとんどいませんが、戦争に関する本はたくさんあります。西中図書室にも“戦争関連コーナー”があります。戦争を題材にした小説もあります。機会があったら読んでみてください。



『永遠の0』 百田尚樹 著

現代に生きる青年が太平洋戦争の特攻で亡くなった零戦パイロットの祖父のことを調べていくうちに祖母への思いを知るようになっていく姿を描いた小説。



『平和のバトン』 弓狩匡純 著

広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶

広島に住む高校生が毎年、原爆を体験したお年寄りから話を聞きそれをリアルな描写で絵を描く。昔の話として終わらせてはいけない。そんな思いをもちながら、読んでみてください。



『ある晴れた夏の朝』 小手鞠るい 著

広島と長崎に落とされた原爆を落とすことは必要だったのか不必要だったのか・・・アメリカの高校生8人が肯定派と否定派にわかれ、議論していく。あなたはどちら派ですか？戦後75年、令和になった今、改めて平和について考えてみませんか？

《これからの時代に生きるための本》

今、私たちの生活を脅かしている“コロナウイルス”。

これからの日常生活は何に気をつけて生活すれば良いのか・・・

西中図書室に新型コロナウイルス感染症やその他の感染症に関する本をいれました。

中学生でも読める、絵やキャラクターでの説明がついています。図書室に来たときに、ちょっと手に取ってみてください。



『新型コロナウイルスのサバイバル1・2』 ゴムドリ co 著
漫画と文字でわかりやすくウイルスの説明がされている本。小学校にもある本で、1年生には人気のシリーズ。



『はじめての感染症図鑑』 岡田晴恵 著

キャラクターのウイルスがたくさんでてきますので、わかりやすく読みやすい本です。



『コロナの時代の僕ら』 パオロ・ジョルダノ 著

今、始まったばかりの「コロナの時代」をわたしたちがこれからどう生きていきたいのかを、まずは自分ひとりで、そして、できればいつかみんなと一緒に考えていきたいという思いのエッセイ集です。

《新着図書案内》

- ・お札に描かれている偉人たち 楠木誠一郎/著
- ・夢をかなえる力ののびし方 茂木健一郎/著
- ・も〜っとわけあって絶滅しました。

丸山 貴史/著

